【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2008-100764(P2008-100764A)
【公開日】平成20年5月1日(2008.5.1)
【年通号数】公開・登録公報2008-017
【出願番号】特願2007-44198(P2007-44198)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　83/40　　(2006.01)
Ｂ０５Ｂ　 9/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　83/14　　Ｅ
Ｂ０５Ｂ　 9/04

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月13日(2010.1.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５２】
【図１】本発明の第１実施例を示す残留内容物排出時の断面図。
【図２】押釦の非押圧状態を示す断面図。
【図３】通常噴射時を示す断面図。
【図４】押釦の底面図。
【図５】他の異なる実施例を示す押釦の底面図。
【図６】通常噴射時の他の使用方法を示す押釦の非押圧状態の断面図。
【図７】通常噴射時の他の使用方法を示す通常噴射時の断面図。
【図８】折返片部分の拡大斜視図。
【図９】実施例２の折返片の拡大斜視図。
【図１０】図９の底面図。
【図１１】実施例３の折返片の拡大斜視図。
【図１２】実施例３に於て、折返片をマウンテンカップに無理嵌めする直前の状態を示す拡大断面図。
【図１３】実施例３に於て、折返片をマウンテンカップに無理嵌めした状態を示す拡大断面図。
【図１４】実施例４の折返片の拡大斜視図。
【図１５】実施例５の押釦の残留内容物排出時の断面図。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
１　エアゾール容器本体
２　マウンテンカップ
４　ステム
５　押釦

１０　折返片
１２　ヒンジ部
１３　内周凹部